

前項委員等は、近年の政治界、経済界、教育界、文化界、及び各階級、各職業の代表者として、それぞれの立場から意見を述べた。その結果、国家社会主義の普及と、社会の改良とを期すこととなり、そのための方法として、教育の普及、職業の改良、及び各階級の団結を主張した。委員等は、この方針を堅持し、社会の進歩のために努力することを誓った。

財団法人協同會大阪支所

財団法人協同會大阪支所

タノデアリマス。島中雄三氏ハ國家社會主義ヲ標榜シテ提案ヲ出シマシタガ之ハ別ニ問題ニナラナカツタガ遂ニ吉川君松岡君島中君赤松君ト私ノ五名ノ小委員ヲ選ビ之ニ對スル協議ヲシマシタ。吉川君松岡君私ハ結黨精神カラ考ヘテ大會テ決定シタ新運動方針竝ニ三反綱領ト云フモノハ現下ノ狀勢ニ於テ正シイモノデアリ何等矛盾スルモノニ非ズト云フ事ニ結着シタノデ（我々ハ現下ノ客觀的狀勢ニ鑑ミ新運動方針竝ニ三反綱領ニ依リ全國勞農大衆黨竝ニ其他ノ無產團體ト即時合同ノ協議ヲナスベシ）ト云フ處ノ案ヲ三名デ出シタノデアリマス。赤松君ハ合同ハ國家社會主義デナケレバナラヌト云フ事ニ固執シタガ爲ニ探議ニ入りマシタガ一票ノ差デ我々ノ案ガ破レタノデアリマス。更ニ四月十五日ノ中央委員會ニコノ二ツノ案ヲ提出シタノデアリマスガ我々ノ案ガ九票ノ差デ勝ツタノデアリマス。我々ハ立憲ノ精神ニ依ツテ再表現サレタコ